



パワー浜松ロータリークラブ週報2014年10月28日号
本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう
～心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ(2014-15年度会長:小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC



第554回例会 10月28日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会:鷺津有一、市川正良 ●点鐘:小林昭次 ●ロータリーソング:「ありがとうロータリー」
 - ゲスト:生嶋 仁様、フィルダウス プリヨ ハルモト様・米山記念奨学生 暢婉君さん
 - 議事:国際奉仕委員会 生嶋 仁様 卓話「グローバル人材育成」
- <出席報告>本日出席率64名 78.04% 前回欠出席率(台風による休会)

■会長挨拶

おはようございます。
今月、2つの結婚式に出ました。社員の結婚式には100回以上出ていますから、結婚式の挨拶は慣れていまして、100回のうちの過半数は、正直にどんな社員かを言いました。しかし、これは違うなと思って、とにかく褒めるように徹するように変えました。そのきっかけを作ってくれたのは、社員が高校で野球をやっている時に、野球部の監督だった山内監督(現在磐田東高校教頭)でした。私が祝辞で言った「成績は優秀とは言えませんが・・・」という一言に、山内監督がわざわざ私の所に来て「彼は、今は成績が悪いですけども、大器晩成型なので、きっと頑張りますから長い目で見てあげて下さい」と言いに来てくれました。この先生は、すごい素敵な先生だなと思いました。
先日のドラフト会議の前に、TBSの番組で、磐田東高校の、齋藤誠哉選手について紹介されました。彼は、青森山田中学出身の、いわゆるヤンキーでした。普通は、青森山田中学から青森山田高校にはすんなり進学できるのですが、彼はできなくて、近隣の高校でもとってくれるところがなくて、磐田東高校がとりました。そのヤンキーを、山内先生が、奥さん共々寮生活を通して更生させて、一流のピッチャーにしました。今年のドラフトで、ソフトバンクに、育成2位で入団する事になりました。山内先生は、ただ単に野球を教えるだけではなく、人生のあり方を教えるんだな、さすがだなと思いました。
山内監督は、齋藤選手の人生を変え、私の祝辞の内容も変えました。磐田東高校には、是非頑張って甲子園に行ってもらいたいなと思います。
尚、私が祝辞で、「優秀では無い」と言い、山内先生が、「大器晩成型」といった社員は、相変わらずまだ花が開いておりませんが、頑張っています。

■幹事報告

- ・10月14日の例会は台風19号の影響で中止。そのため11月4日の例会内容を変更し、職業奉仕委員会担当の「航空自衛隊パイロットOBが語る体験談」とする
- ・11月11日の例会は11月16日の地区大会に変更
- ・本日、11月16日開催の地区大会の出欠の締切

■委員会報告

広報委員会:静岡市のアザレアで広報勉強会に参加。静岡新聞報道局中島氏より記事の書き方等のレクチャーを受けた。新聞だけでなくデジタル活用の提案をいただいた。
クラブ研修リーダー:今夜19:20~新人研修会・懇親会開催。金山、松本、安藤先生の担当。特に安藤先生を囲んで親睦を深めたい。
親睦委員会:12月20日に恒例のクリスマス会・忘年会開催。皆さんからのプレゼントを集めます。11月末まで。職業奉仕委員会:11月25日の自衛隊見学に行く方で車両の登録が終わってない方は事務局あてお願いしたい。

■スマイル

竹林 克己:本日の講師の、生嶋様、ハルモト様ありがとうございました。これからも、ロータリーの仲間へのアドバイス、宜しくお願い致します。
金山土洲:パワーRCで初めてのクラブビルダー賞を頂きました。この賞は、少なくとも5名の会員を入会させ、その会員が全て正会員としてとどまっていること。クラブの研修、また、職業奉仕プロジェクトに参加。直前3年間に、少なくとも2回の地区会合に出席している・・・。このような条件を満たしているとの賞、との事です。私はこの賞の事は全く知りませんでした。諸星パスト幹事、事務局の市川さんにも、地区との手続きでは、大変お骨折り頂きました。私のスポンサーにて入会して戴いた会員に御礼申し上げると共に、受賞の盛大な祝賀パーティーをお願いします。
堀内善弘:お手元に配らせて頂きましたチラシです。11月9日(日)アクトシティ浜松、展示イベントホールにて、9時~15時の間、小学生4年~6年を対象とした、職業体験イベントを行います。タイトルは、「ハママツ ワクワクキッズ」です。商工会議所青年部が頑張っています。お時間があれば、見学してやってください。
原田道子:11月20日、日本ニュービジネス協議会の全国大会があります。ホンダのロボット全てが展示されています。日本全国から経営者が集まります。(1,000名)あと8枚の残り、1枚10,000円ですが、8枚まで早い者勝ちで、無料でお渡しいたします。原田道子が企画しました。
坂井光藏:昨夜、4月にSBS学苑の「手造り味噌」講座で造った味噌を開封しました。「美味しい!」明日の味噌汁が楽しみです。楽しみにしています。
滝浪寛:先日は、父の葬儀に御会葬、御厚情を賜り、大変ありがとうございました。



■ 議事

国際奉仕委員会担当

生嶋 仁様 卓話「グローバル人材育成」

SIBAの事務所は静岡にある。県の補助事業、委託事業等をやっている。海外に輸出する、輸入する、製品を海外に売る、調達するというときの、相手先を探すなどの情報提供、あるいは海外に進出する、工場や駐在所をつくるときの情報提供。海外の企業を静岡県に誘致する仕事もしている。

静岡県の事務所が海外に4カ所ある。上海、台北、ソウル、シンガポール。

以前はロサンゼルス、デュッセルドルフにもあったが閉鎖し、いまはアジアに集中。県から駐在員は各2人ずつ。現地採用女性2人。情報をとりたいときは事務所の訪問ができる

輸出入、海外進出支援する際の情報提供としては、浜松商工会議所で毎週木曜日の午後に相談日を設けている。

外国人観光客の誘致やいろいろな市や銀行でSIBAの事業を紹介している。西部ではアジアに置ける人材戦略セミナーを開催。グローバル人材育成ということでやっている。海外進出しようとしても行ってくれる人材がいらない、という声を聞くのでそれに応えて行っている。

またミャンマー、カンボジア、ベトナム、タイに投資している。企業が海外に進出するというときは、存続のために売上を確保するということがあるが、ベトナムは豊かになったとはいえ、学校に行くための教科書が買えない、だから学校にいけない子もいる。日本企業が海外にいくということは、そういう家のお父さんお母さんの雇用を確保するとか、生活を豊かにするという意味もある。

留学生 ハルトモくん

6年前に来日。日本語学校に2年間通ったのち、研究生として静岡大学に入学、事業開発マネジメント専攻を卒業。1984年インドネシア中部ジャワ生まれ。バスマン大学工学部システム工学課卒業後、日本へ。静大卒業後、いまはヤタローで働いている。インドネシアは1万8000を超える島がある。無人島もある。民族は300。それぞれの地域は言葉は違うが、学校に通った人はインドネシア語を学ぶ。インドネシアの田舎にいくとインドネシア語が通じないこともある。

人口はまだ増えている。ひとりあたりGDPも増えている。人口の一番多いのはジャワ島。理由は雇用があること、出稼ぎ目的で来る。他の島は森や畑が多い。ジャワ島は建物が多い。

観光地はバリ島、コモド島、ここには、コモドドラゴンという珍獣がいる。ボロブドゥール(世界遺産)、プロモ(海のなかにある山)、ロンボク等(自然があふれて観光客いない。自動車とバイクは禁止、自転車と馬車のみいい)も観光地として有名。

輸出品は、ブラックタイガー、さといもが多い

日常生活は、朝5時か6時に起きてシャワーを浴び、お祈り、朝ご飯、仕事。

2時になったら仕事から帰り、昼ご飯を食べて昼寝(1時間くらい)、お祈り、シャワー、夜になったらお祈りして、家族で集まって夕ご飯。

朝からシャワーを浴びるのは、一年中暑いから寝汗をかくから。

インドネシアは1年中暑いので、日本みたいな四季はない。だからみんなそんなに急がない。今日はここまでと終えてしまう。

日本人が感じるインドネシア人への疑問は、「どうして時間を守らないのか?」や「どうして注意されたときニヤニヤするのか?」。インドネシア人の日本人への疑問は、「どうして人前で怒るのか?」「どうして割り勘なのか?」「どうしていつも急いでいるんだろうか?」など。

